

新春コンサートのお知らせ

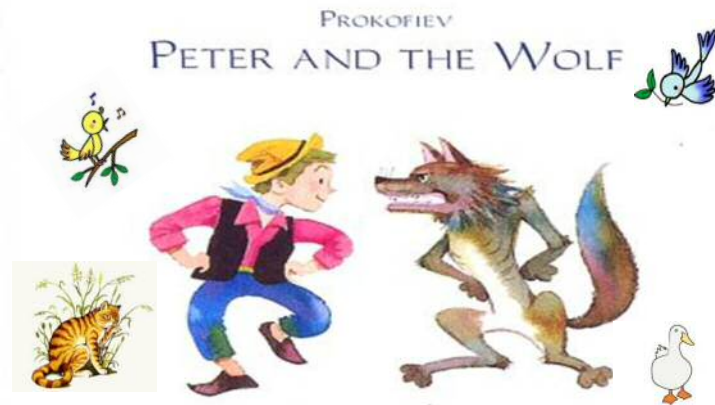
第21回川崎病院新春コンサートを行います
 日時：平成27年1月23日（金）午後6時30分開演
 場所：川崎病院1階ロビー

出演：洗足学園音楽大学 近藤ゼミ
 プロコフィエフ作曲 音楽劇 「ピーターと狼」
 「見上げてごらん夜の星を」、「サウンド オブ ミュージック」など

『ピーターと狼』作品67は、ロシアの作曲家プロコフィエフ(1891~1953)がロシアの民話を元に作曲した音楽劇で、色々な楽器が動物の種類に別れて登場する、ナレーターつきの「子供のための交響的物語」です。

ピアノやフルートさらにはプロジェクターを使った紙芝居をしながら、洗足学園音楽大学近藤ゼミメンバーによる特別編成でお送りします。

おたのしみに！！



部門紹介 地域医療連携室

これまでではひとつの病院で患者さんの治療を完結する医療でしたが、これからは地域の「かかりつけ医」と病院が上手に連携して、患者さんにとって最善の医療サービスを地域完結型で提供することが求められています。

地域医療連携室は、地域の医療機関からの窓口になっており、「かかりつけ医」などから紹介された患者さんが当院での診療や検査を受けていただきやすいようにする大事な役割を担っています。日常的な病気や怪我などの治療につきましては、まず「かかりつけ医」を受診していただき、専門的な治療、検査が必要と判断されたら、紹介状を書いていただき、それをお持ちになって当院を受診して下さるようお願いいたします。

「かかりつけ医」がいらっしゃらない方や身近な診療所に心当たりのない方は、地域医療連携室がお手伝いします。当院の医療スタッフまでお申し出ください。



臨時看護職員募集 看護師・助産師を募集中

川崎市立川崎病院では、臨時的任用看護職員(看護師・助産師)を募集しています。
ご希望の方は、次の要領でお申し込みください。

- ① 職種 看護師・助産師（免許取得者）
- ② 勤務時間 勤務時間等をご相談に応じます
- ③ 勤務場所 川崎市立川崎病院
- ④ 休暇 期間・勤務時間に応じて有休あり

お申込み・お問合せ：
 看護部管理室へ直接お電話ください。
 ☎(044)233-5521(代)

医師事務作業補助員募集

川崎市立川崎病院では、病院勤務医の負担軽減のため、事務を補助する臨時的任用医師事務作業補助員を募集しています。

お申込み・お問合せ：
 庶務課へ直接お電話ください。
 ☎(044)233-5521(代)



川崎市立川崎病院
シンボルツリー

くすの木

平成27年1月1日発行（第23号） 発行責任者：柄崎 智 編集：広報委員会
 事務局：川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通1-2-1 電話044-233-5521
<http://www.city.kawasaki.jp/35/35kawsyo/home/home.htm>

《病院長のあいさつ》

川崎市立川崎病院 病院長 増田 純一



明けましておめでとうございます。
 川崎市立川崎病院の前身は1904年12月に設立された伝染病組合病院で、1927年に川崎市立病院と改称しました。1945年6月に総合病院（6診療科）に切り替わるとともに現在の名称となり、2001年に現病院が竣工し今日に至っています。現在の診療科は29科、病床数は713床であり、川崎南部地域の基幹病院および自治体病院として市民のニーズに迅速かつ柔軟に対応し、安全で安心な質の高い医療サービスの充実を目指してまいりました。

しかしながら団塊世代がすべて後期高齢者となる2025年を控えて、医療・介護・福祉をシームレスに提供するために地域包括ケアシステムの構築が喫緊の課題となっています。その中で当院も従来の病院完結型の医療ではなく、地域全体の医療サービスを見据えながら、近隣の病院や診療所と当院のそれぞれの特徴を活かした機能分担と連携を進めてまいります。それにより地域全体の医療の質が高まり、市民サービスにつながると考えております。

当院は2006年4月に救命救急センター開設、2009年4月に新生児集中治療室（NICU）再開、2010年4月に周産期救急医療システム中核病院・地域周産期母子医療センターに認定、2011年3月に神奈川DMAT（災害派遣医療チーム）指定医療機関となるなど、医療体制の更なる充実を図っています。

当院は高度急性期医療を提供する病院として原則紹介外来制とし、地域の病院や診療所の「かかりつけ医」の先生方から信頼をもって患者さまを紹介していただき、急性期集中治療の必要性を終えた患者さまは「かかりつけ医」の先生方に診ていただく、あるいは「かかりつけ医」の先生方と協働して診療するという地域医療連携を引き続き進めてまいります。

当院はチーム医療も積極的に推進しており、2011年の病院機能評価受審時には、診療科の枠を超えた治療方針の検討や他部門・多職種との診療協力体制が構築されているとの評価を受けました。また、医療安全管理や感染対策の充実にも努めているところです。さらに2012年には臨床研修評価機構により最長の6年間の認定、およびリーダー的な研修病院であるとの高い評価を受けました。認定看護師も20数名を数え、それぞれの専門性を活かした看護を行うなど、人材育成にも力を入れております。

医療を取り巻く環境は、相変わらず大変厳しいものとなっているところでございますが、当院職員一丸となって、さらに質の高い医療の提供や、医療サービスの改善に取り組んでまいります。

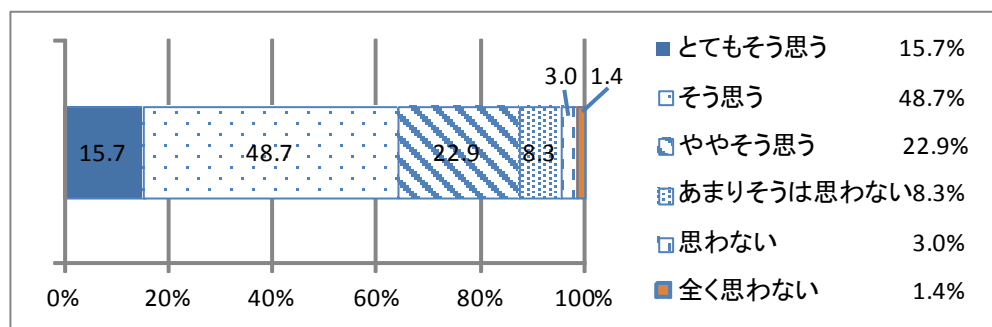
皆様のご協力とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2015年（平成27年）1月
川崎市立川崎病院 病院長 増田 純一

患者満足度調査を実施しました ご協力いただき ありがとうございます。

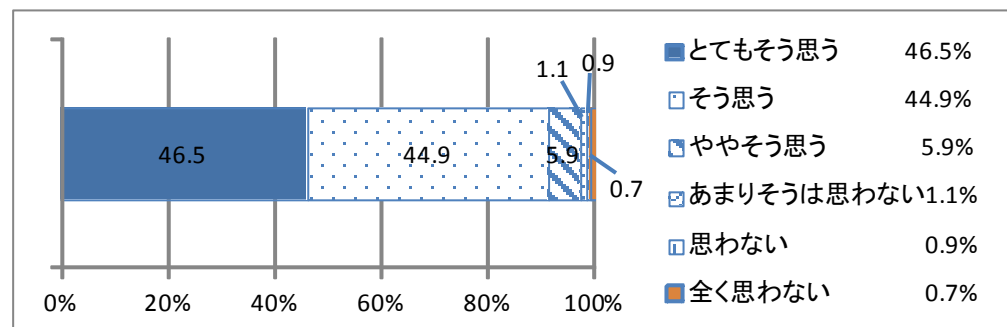
川崎病院では、医療サービスの質の向上をめざして「患者満足度調査」を毎年実施しています。平成26年度の患者満足度調査は、外来が8月19日から21日、入院が8月4日から29日の日程で行いました。調査票は、外来で1000部配布し871人の方にご回答いただき、入院で650部配布し464人の方にご回答いただきました。ご協力いただいたこと、紙面を借りてお礼申し上げます。

<外来> 当院の医療に満足している



主なご意見
 ・待ち時間が長い
 ・予約が電話とれるとよい
 ・詳しく説明してほしい
 ・わかりやすく丁寧な対応でよかった
 ・安心できます
 など

<入院> 入院中に受けた医療に満足している



主なご意見
 ・同じ事を何度も聞かれる
 ・情報の共有をして欲しい
 ・説明が不十分
 ・一生懸命で勇気づけられた
 ・対応が早いので助かりました。
 など

『後発医薬品』と『かかりつけ薬局』の勧め！

後発医薬品という言葉、見たり聞いたりしたことありますか。ジェネリック医薬品とも呼びます。

「あー、あの、薬代が安くなるってやつだろ」
 「薬局に処方せんを持っていったら、薬剤師に勧められたよ」
 こんな感じでしょうか。

新しい医薬品（先発医薬品）は、1万の物質のうち一つが製品につながれば良い方といわれ、10年以上の年月と数百億円の開発費用が必要といわれています。これに対して後発医薬品は、特許の切れた先発医薬品の成分を利用でき、先発医薬品と『同等』であれば医薬品として厚生労働省から認可されますので、開発費用が桁違いに安くすみます。

これが、医薬品の値段＝薬価が安くなる理由です。
 さらに、水なしで飲むことができたり、錠剤を半分に割らなくて良いように半量の規格を作ったりして、先発医薬品にない特徴を持った医薬品にする工夫もされています。
 ただし、『同等』とはいっても、錠剤やカプセル剤あるいは軟膏などにするためには様々な添加物が必要で、厳密には先発医薬品と後発医薬品は『全くの同一』ではありません。そのため、先発医薬品と違う副作用が出たり、効き目が異なる可能性も全くゼロではありません。

こういったことも含めて、是非一度、おかけの薬局で薬剤師さんにお話しを聞いて、ご自分で納得された上で後発医薬品をお使いください。

ところで、今『おかけの薬局』と書きましたが、皆さんは、病院や診療所でもらった『処方せん』を、どこの薬局に持って行きますか？病院の目の前にある薬局に出すことが多いのではないかと思います。

川崎病院では、発行した処方せんの半分以上が、病院の周りにある薬局に持ち込まれています。決してそれがいけない、というわけではありません。おかけの病院が川崎病院だけであれば、何の問題もありません。

ただ、もしあなたが他の医療機関も重複して受診されている場合は注意が必要です。別々の病院で、見た目や名前は違うけれど同じ成分の薬や、同じ効き目の薬が出たり、あるいは飲み合わせの悪い薬が処方されているかもしれません。

それを、それぞれの病院の近くで薬をもらい、知らずに全部一緒に飲むとどうなるでしょう？
 こういう時は、是非、いろいろな病院でもらった処方せんを同じ薬局に持ち込んでください。そうすれば、別々の病院で出された薬が、あなたにとって適切かどうか確認し、問題があれば病院に聞いて、変更してもらえます。

薬局は、どこの医療機関発行の処方せんでも、基本的には受け付けてくれますから、ご自宅や職場の近くなど、あなたが利用しやすい薬局をお選びください。

この、一つにまとめた薬局のことを『かかりつけ薬局』と呼びます。
 かかりつけ薬局を作っておくと、処方せんの内容の確認だけでなく、病院の先生には直接言いにくいことでも、薬局の薬剤師さんを通じて先生に伝えてもらうこともできます。

また、「ちょっと具合が悪いな～」という時にも、かかりつけ薬局があれば気軽に相談できます。わざわざ病院に行かなくても、薬局で買える薬で症状が改善するかもしれません。

これを、『セルフメディケーション』と言います。
 スペースの都合上、このお話しは、また別の機会に！

今回は、『後発医薬品』と『かかりつけ薬局』の勧め！でした。



薬剤部 飯島 尚志